科目名	専門演習Ⅰ　　Seminar Ⅰ						
科目担当者	甲斐 睦教　　KAI Mutsunori						
単位数	4	配当年次	２年	授業形態	演習	開講学期	通年
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科［専門教育科目　演習］ 他学部他学科履修×					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	地方における環境の変化やそれに伴う地方自治体の役割の推移、さらに全国の地方自治体の行政運営の状況や課題等を考察します。 そのうえで、身近な特定の自治体について、その地域の資源や魅力、地理的な特性を分析し、地域が目指す目標像や、それを達成するための戦略あるいは課題克服のための方策等について検討を進めていきます。						
授業の到達目標	①　地域創生に関する事例研究発表の資料作成及び発表時の説明手法について向上を図る。 ②　発表についての全員による討論を通じて、論理的意見の陳述手法を学習する。 ③　教科書の内容に加え、地方自治や地方創生に関する社会事案についても理解を深める。						

授業計画・内容

1	オリエンテーション	16	調査研究発表・討論（9）
2	自治体の実態調査	17	調査研究発表・討論（10）
3	課題検出	18	地域問題・課題の提出
4	目指すべき目標設定	19	地域問題・課題の提出
5	各自が特定地域設定	20	各自研究テーマを設定
6	特定地域のリサーチ	21	テーマに関する現状分析と課題の摘出
7	リサーチ結果のまとめ	22	課題解決方策の検討
8	調査研究発表・討論（1）	23	調査研究発表・討論（1）
9	調査研究発表・討論（2）	24	調査研究発表・討論（2）
10	調査研究発表・討論（3）	25	調査研究発表・討論（3）
11	調査研究発表・討論（4）	26	調査研究発表・討論（4）
12	調査研究発表・討論（5）	27	調査研究発表・討論（5）
13	調査研究発表・討論（6）	28	調査研究発表・討論（6）
14	調査研究発表・討論（7）	29	調査研究発表・討論（7）
15	調査研究発表・討論（8）	30	調査研究発表・討論（8）

授業外学修 (事前学修)	事例研究発表とそれに関する討論の準備を行う（毎回 4 時間程度）
授業外学修 (事後学修)	

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応

成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
事例研究発表（プレゼンテーション）	60%	①
授業中の討論	20%	②
課題の提出（毎回）	20%	③

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	椎川忍ほか『知られざる日本の地域力』今井出版（授業で配布）
参考文献	必要に応じ適宜紹介します。
その他	